

**2015 年度の世界殿堂にローラ・デービス、デービッド・グラハム、マーク・オメーラ、A.W.ティリングハーストを選出
授賞式典は、2015 年 7 月 13 日にセントアンドリュースで開催**

2014 年 10 月 15 日

セントオーガスティン（フロリダ）

ローラ・デービス、デービッド・グラハム、マーク・オメーラ、A.W. ティリングハーストが 2015 年度世界ゴルフ殿堂入りを果たしました。授賞式典は、2015 年 7 月 13 日、同週に第 144 回全英オープンが開催されるセントアンドリュース オールドコースに近いセントアンドリュース大学で行われます。

今回は、選考基準の見直しが行われてから初めての選考となりました。殿堂入りを果たした 4 名は全体票の 75%（16 名の選考委員の内 12 名以上の票）を獲得しました。

選考委員会は、殿堂入りを果たしているナンシー・ロペス、アーノルド・パーマー、ゲリー・プレーヤー、アニカ・ソレンスタムに加え、世界殿堂の理事などで構成されています。

ティム・フィンチャム（PGA ツアーコミッショナー、世界ゴルフ殿堂理事長）のコメント：「私たちは、ローラ・デービス、デービッド・グラハム、マーク・オメーラ、A.W.ティリングハーストを世界ゴルフ殿堂に迎え入れることができ嬉しく思います。新しい選考基準のもと、多様で国際色豊かなメンバーによって厳正なる選考を行いました。その選考結果を喜ばしく感じております。殿堂入りされた皆様、おめでとうございます。」

選考委員会は選考小委員会から推挙された最終候補者 16 名から 4 名を選出しました。小委員会は今夏に委員会を開催し、4 部門で候補者を選出しました。下記は最終候補者です。

<u>候補者</u>	<u>部門</u>
Laura Davies	女子選手
Johnny Farrell	男子選手
Max Faulkner	引退選手
David Graham	男子選手
Beverly Hanson	女子選手
Catherine Lacoste	引退選手
Henry Longhurst	生涯業績
Davis Love III	男子選手
Meg Mallon	女子選手
Graham Marsh	男子選手
Mark O'Meara	男子選手
Sandra Palmer	女子選手
Calvin Peete	引退選手
Samuel Ryder	生涯業績
Jan Stephenson	女子選手
A.W. Tillinghast	生涯業績

ローラ・デービス

メジャー4勝を含む70勝以上の勝ち星を重ねたローラ・デービスは、最も成功したイギリス人女性プレーヤーと言われています。アマチュア時代での活躍後、1985年、新人賞を獲得するとともに賞金女王に輝き、新人ながらその地位を確固たるものにしました。

1987年、若く23歳ながらブレインフィールドカントリークラブで行われた全米女子オープンでは、後に世界殿堂入りを果たす岡本綾子とジョアンヌ・カーナーとのプレイオフを制しました。1990年代に入ると、デービスは1994年と1996年の全米女子プロ選手権に勝ち、世界でも屈指のトッププレーヤーとなりました。さらに、1996年にはデュ・モーリエ・クラシックで4つ目のメジャーを手に入れました。

デービスは、1990年から2011年まで12回、ソルヘイムカップのヨーロッパ代表となりました。1994年と1996年には全米ゴルフ記者協会が選ぶ最優秀選手賞を獲得した他、1994年にはゴルフ記者連盟が選ぶゴルフ記者賞にも輝きました。1988年には、エリザベス女王より大英帝国勲章のメンバーの称号を付与され、2000年には大英帝国勲章のコマンダーを受章しました。

コメント：「2015年度の殿堂入りを果たし、選考小委員会と選考委員会に感謝申し上げます。すばらしい名誉です。特に、2015年セントアンドリュースで行われる授賞式典を楽しみにしています。とても特別な行事になるでしょう。」

デービッド・グラハム

世界中で20勝以上の勝ち星を誇るグラハムは1979年、オークランドヒルズカントリークラブで開催された全米プロゴルフ選手権と1981年、メリオンで開催された全米オープンで勝ちました。その時の全米オープン最終ラウンドで叩きだした67というスコアはメジャーの歴史の中でベスト最終日の一つと言われています。ラウンド後、ベン・ホーガンからの電話があったといいます。

グラハムの大きな2勝はアメリカ本土であげたものですが、ヘール・アーウィン、ベルナルド・ランガー、ゲリー・プレーヤーと並び6大陸全てで勝利をあげた、まさに国際的なプレーヤーです。ダンヒルカップでは3回、ワールドカップでは2回（その内の1回は1970年にブルース・デブリンと組んで優勝）オーストラリア代表となりました。また、1994年に開催された第1回プレジデントカップではインターナショナルチームのキャプテンを務めました。

コメント：「殿堂メンバーに選ばれたことは、これまでのキャリアに華を添えるものです。私だけでなく、妻、子供たち、そして友人にとってとても名誉なことです。」

マーク・オメーラ

マーク・オメーラが1998年、マスターズと全英オープンに勝ち、偉大なプレーヤーの仲間入りを果たしたことをゴルフファンなら覚えているでしょう。マスターズでは、最後の2ホールでバーディーを奪ってフレッド・カプルスとデイビッド・デュバルに1打差で勝利。全英オープンでは、ブライアン・ワッツと4ホールのプレイオフを制しました。この時、41歳。これは、同一年度でメジャー2勝をした最年長記録を更新するものでした。同年、PGAツアーの最優秀選手賞に選ばれたことは何ら不思議ではありません。

彼の輝かしいキャリアは1979年の全米アマでの優勝から始まりました。オメーラは、世界中で20勝以上しており、ライダーカップで5回、プレジデントカップで2回のアメリカ代表となりました。

コメント：「この良き日に家族、友人に感謝を伝えたい。殿堂入りしたことは夢の実現です。」

A.W.ティリングハースト

1874 年に生まれたアルバート ウォーレン (A.W.) ティリングハーストはオールドトム・モリスからレッスンを受けるとともに、セントアンドリュースの崇拝者で、アメリカゴルフの発展のために尽力しました。彼は、アメリカで 100 以上のコースを手がけたコース設計家でした。また PGA ツアーの初期メンバーであり、ゴルフに関する著作を多く手がけました。ティリングハーストが手がけたコースの幾つかは、世界でも高い評価を得るとともにしばしばメジャーの舞台にもなっています。ベスパイジ、ウイングドフット、バルタスロールゴルフクラブ、サンフランシスコゴルフクラブ、クエーカーリッジアンドサマーセットヒルズはティリングハーストのデザインによるものです。

ローラ・デービス、デービッド・グラハム、マーク・オメーラ、A.W.ティリングハーストはセントアンドリュース大学のヤンガーホールで授賞されます。そこは、授賞式典が行われるアメリカ以外で最初の施設となります。

ジャック・ピーター（世界ゴルフ殿堂 COO）のコメント：「ローラ・デービス、デービッド・グラハム、マーク・オメーラ、A.W.ティリングハーストが殿堂ファミリーに加わります。今回の殿堂入りの発表は、授賞式典やこの組織を長きにわたってその存在を確かなものにするために行った変革の年の総決算です。私達は、4 名の殿堂入り者を祝福することを楽しみにしています。また、4 名の皆様に心からお祝いを申し上げます。」